

アコモード

第30号

タイムズ



編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特養ホーム
- デイサービスセンター
- ヘルパーステーション
- 訪問入浴介護事業所
- 居宅介護支援事業所
- アンジェリカ保育園
- ケアホームアザレア
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター

千葉県我孫子市布佐 1559-2

Tel.04(7189)5201・Fax.04(7189)5203



2012年5月開局の東京スカイツリーです。アコモードからスカイツリーまでは約33km。634mのタワーはアコモードからでも肉眼で眺めることができます。開局の年の正月にアコモードの屋上から撮影しました。

穏やかな1年を願って

施設長 海老原 勤

昨年の体験を振り返りながら、新年のご挨拶を申し上げます。私たちの法人では、震災以降、つつじ荘を地元や福島県からの避難所として開放させていたとき、特養ホームでは、被災高齢者や障がい者の受け入れ等々めまぐるしい日々が続きました。

被災され、我孫子の地へ避難なされた皆さんも、それぞれ新たな生活の地へ移られ、また、特養施設の修繕も無事に完了し、震災前のアコモードの姿にようやく戻ることができたところです。しかし、同じ布佐の街でも液状化により住み慣れた我が家で未だに生活することができない方も大勢いらっしゃいます。ましてや、東北地方の被災地の皆様の生活をテレビなどで拝見しますと大変な困難にさらされておられます。つつじ荘に避難してきたランドセルを背負ってきた女の子は元気にしているかな？と、ふと考えることもあります。新潟沖地震、阪神淡路大震災など大きな震災を経験した皆様も今回の震災がもたらした被害には大きなショックを受けたことでしょう。

震災当日、私は千葉県庁の庁舎の中におりました。高層ビルの12階、生まれて初めて経験する大きな揺れに「死」を覚悟したものです。少し前にもニューヨークで大きな地震があり救出の様子をテレビで観ており、その光景が頭を過ぎったものでした。平時であっても、高いところが苦手な私にとって生きた心地はしませんでした。揺れが収まり帰路につこうとした時、施設の様子を早く把握しなくてはという思いが強くなりましたが、携帯電話は繋がらず、公衆電話は長蛇の列。漸くして公衆電話から施設に連絡が取れ、けが人がいないことを確認することができました。とにかく安堵の一心で帰路につきましたが飛び交う自衛隊のヘリコプターにバトカーや消防車のサイレン。尋常ではないことを感じ取りつつ、自分の置かれた立場に震えを感じたものです。大勢の同居者、職員、みなさんの命がひとつの場所で営まれている。その場の責任者としての責任を痛烈に感じた一日でした。

自然災害は、誰にも防ぐことはできないものでしょう。しかし、改めて日ごろからできることは何であるのか、そのために何をなすべきか、真剣に考えました。防災や非常時の対応、訓練などは、今までにか他人事であったのでしょう。真剣に考えた今、何があっても耐えられる環境と精神づくりを一日一日積み重ねていくことが大切であると学びました。

終わりに、この一年が平穏無事であること、そして被災された皆様の生活が一日も早く元に戻れるよう心からお祈りいたします。



迎春

各部署 新年あいさつ

生活相談員

ご利用者及びご家族のニーズの把握を行い、他部署と連携してクオリティの高いケアを目指していきます。

ご利用者の縁の下の力持ちとなるべく、施設生活において安心して生活が提供できるよう努めていきたいと思えます。

特養ホーム

新年明けましておめでとございます。

ご利用者、ご家族の皆様には、希望に満ちた新年を迎えられたことと思えます。

昨年中は、未曾有の大震災があり、記憶に残る年となりましたが、入居者様職員に被害はなく乗り切ることが出来ました。

ご利用者から安全で安心できる、そして信頼される施設作りを目標とし、職員一丸となり努力をしまいる所存でございます。

今後とも皆様からのご理解とご協力をお願い申し上げます。

医務室

医務室では、日々、ご利用者の健康状態の観察、ケアを行っております。インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対応にも迅速に対応できるように努めています。昨年には貝塚紀子看護師、平出里美看護師の入職があり仲間も増え、ご利用者が毎日明るく元気に過ごせ、家族の方にも安心していただけるような看護を目指します。

居宅介護支援事業所

「その人がその人らしく」それぞれのニーズに対応できるようにきめ細やかな生活相談を目指していきます。新規のご相談や急な変更にも速やかに対応できるように、職員同士、事業者との連携を大切にしたいと思えます。高齢者の皆様が心身共に明るく健康的に日常生活を送ることができるようお手伝いさせていただきます。

デイサービス

昨年は通所介護事業所の転換期でありました。私たちはスタッフ一丸となり、今まで以上にご利用者の皆様と向き合い、サービスの質について考えてまいりました。その結果、納涼祭参加や、運動会、外食等、皆様に喜んで頂ける行事が始まっております。

皆様の笑顔が絶えない、そんなデイサービスを本年もつくって参りたい所存でございます。



アザレア

今年のアザレアは、開所から丸5年を迎えます。ご利用者の皆さんは、概ね落ち着いて生活されています。

アザレアの今年の目標は、職員の間なるスキルアップと、災害など不測の事態への対応の強化です。「アザレアがあるから安心」と、利用者やご家族の皆さんに感じていただけるよう、普段から備えていきたいと思えます。

アインジエリカ保育園

今年が節目となる年度を迎える年となります。

なぜ節目なのか。それは、開園の年に入園した0歳児クラスの園児たちが卒園をする年度だからです。

毎年の卒園式では感動の涙ポロポロで大変なのですが、いつにも増して涙の量が増えそうです。

皆様にとって喜びの多い年でありませう。

ヘルパーステーション

今年のヘルパーステーションは、若いメンバーと熟年メンバーが力を合わせ、互いに切磋琢磨しながら仕事に励んでいきたいと思っています。

又、多くのご利用者へ、サービスが提供できるように頑張りますので宜しくお願い致します。皆様にとって今年一年、より良い年でありませう。

つつじ荘

新年明けましておめでとございます。

平成18年度から5年に渡る指定管理期間を経て、昨年の4月より第2回目の受託運営をしています。今期も地域高齢者の皆様の「いいの場」となるよう、いつ来ても清潔で居心地が良く思わず長居してしまう施設、「つつじ荘があるから毎日元気でいられるわ」といって来館いただいている皆様に元気を付けてもらえるような施設を目指します。

今年一年も皆様が健康で幸せな一年でありますよう。

訪問入浴

私たちの生活の身近にあるお風呂が何よりも楽しみで「ああ〜気持ちいい」と言って頂く。その一言が私たちスタッフの一番のパワーの源です。安全で安心できる、そして信頼されるサービスを目標としてスタッフ一丸となり努力していきたいと思えます。

高齢者なんでも相談室

昨年4月18日、布佐駅前にも相談室を開設してからあつという間に8ヶ月以上経過しました。

まだまだ地域の方への周知不足とは思いますが、在宅介護支援センター時代と比べ、相談してくださる方が大幅に増えており、足を運びやすい場所になっていることは確かなようです。

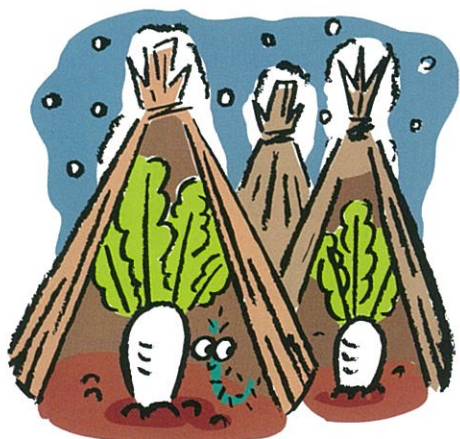
今年も昨年以上に、高齢者の方が気軽に相談していただけるような相談室を目指して活動していきたいと思えます。

栄養事務室

明けましておめでとございませう。

今年もおせち料理をお作りし、皆さんに喜んで頂けたことを嬉しく思います。

アコモード厨房は「安全で美味しい食事を通じて、全ての利用者が気楽に心地よく寛いで生活できるように全力で支援いたします」と基本理念を持っています。今年も「食べることで皆さんに笑顔のプレゼントができるよう頑張ります。」



非常災害に備えて

東日本大震災を経験して

去る3月11日14時46分にかつてない規模の巨大地震が日本を襲いました

た。M9という地震は東日本全域に大きな爪痕を残し9ヶ月経った今でも復興が思うように進んでいないのが現状です。

『震災を経験して感じたことは「救える命は無かったのか?」ということです。地震後すぐ到達した津波は

予想をはるかに上まる規模だった為人間の限界を超えていたかもしれないが皆で協力し助け合い避難をすれば助かる命はあったと思います。

アコモードとしても災害や救急時に迅速に対応できる様日々訓練や勉強会を行っています。



避難訓練



避難訓練



消火訓練



勉強会



消防隊との合同訓練



心肺蘇生訓練



AED訓練



防災倉庫の整備

今後の予定

- 1月 新年祝賀会
- 2月 節分
- 3月 桃の節句
- 4月 お花見会
- 5月 端午の節句
- 母の日
- 6月 父の日
- 創立記念日

あとがき

新年あけましておめでとございませう。

去年は震災があり日本中が暗い一年でしたが復興に向け一步一步進んでいきたいと願います。アコモードとしても復興に向け何ができることはないか職員一同考えていきたいと思っております。今年が皆様にとっていい一年でありますように。

(広報委員一同)

